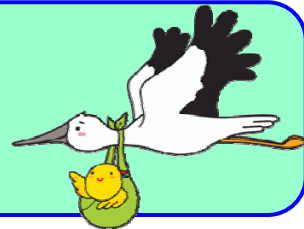


# ひょうご 子ども未来通信6月号

[http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08\\_00000008.html](http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html)



## こうのとりの大使1,104人に

独身男女の出会いを支援する「こうのとりの大使」の委嘱式が5月25日神戸市内で開かれました。



今回委嘱を受けた大使は県保育協会から推薦のあった34人で、これで大使の合計は1,104人となりました。

保育協会の総会にあわせて開催された委嘱式では、井戸知事から代表の正覚坊保育園の片山弘文園長に委嘱状が手渡され、「地域での男女の出会い支援活動にぜひご協力をお願いしたい」とのあいさつがありました。

(問)県少子対策課 078-362-4232

## 認定こども園への移行に向けた研修会に220名(155園)が参加(5/21)

認定こども園への移行を目指す保育所・幼稚園の園長等を対象とした研修会が県庁で開催され、認定こども園制度の概要や具体的な認定申請の手続き等の説明が行われました。

研修会には当初の見込みを大きく上回る約220名が参加し、関係者の認定こども園に対する期待と関心の高さがうかがえました。

清原理事は、「教育・保育ニーズの多様化に対応し、地域の子育てを支援する認定こども園への移行に向けた積極的な取り組みを」と呼びかけました。なお、現在の県内設置数は全国第4位の31園です。

(問)県児童課 078-362-3215



県・市町少子対策  
協働会議 (5/10)

## 県と市町 少子対策関連施策について情報交換 南あわじ市など6市が先導的取り組み事例を発表

県と市町の少子対策・子育て支援関連施策の情報共有を目的とした会議が5月10日神戸市内で開催されました。

今年度は南あわじ市など6市が、出会い・結婚支援、乳児家庭訪問、児童虐待対策、認定こども園、ファミリーサポートセンター、父親の育児参加について取り組み事例を発表したのち、圏域毎に9グループに分かれて討議・情報交換を行いました。



事例発表を行う各市担当者 上段左より南あわじ市、赤穂市、加古川市 下段左より中央市、川西市、尼崎市



各グループの発表では、加古川市の児童虐待防止の取り組みの一環として実施している学校訪問に関する質問が相次いだほか、認定こども園の更なる推進が必要、ファミリーサポートセンター事業の会員数を充実させ、ニーズに応じていける体制を整えていきたい、出会い結婚支援事業を市が中心となって実施していることは魅力的、父親の育児参加では関心の低い父親にいかんPRしていくかが課題といった意見が出されました。

(問)県少子対策課 078-362-4183

## こどもフェスティバルを開催(5/5)

「こどもの日」の5月5日、県立こどもの館で「こどもフェスティバル」が開催されました。

「多世代で感動体験～あそぶ・つくる・かんじる～」をテーマに、5千個の積み木遊びや紙芝居、人形劇、マジックショーなどのほか、高校生などのボランティア15団体による工作体験や化学実験コーナーなど、親子連れら約6千人が楽しみました。

積み木を背の高さまで積み上げては崩して遊んだり、絵の具で好きな色を塗った段ボールで家づくりに取り組むなど、楽しく遊びました。

(問)県立こどもの館 079-267-1153



## 平成 22 年度児童福祉週間記念事業

### 「こいのぼりのつどい」を開催(5/8)

5月8日(土)、県内の児童養護施設や乳児院の子どもたち1,300人が県立明石公園に集い、「おーい集まれ!こいのぼりのつどい」が開催されました。

永守こども局参事兼こども安全官から「風をいっぱいを受けて大空を泳ぐこいのぼりのように、いろいろなことにチャレンジしてたくましく成長してください」と子どもたちに励ましの言葉が送られました。

この後、子どもたちによる和太鼓やダンスなどの演技披露、各施設対抗の大縄跳び競争な



どの催しが行われ、子どもたちは五月晴れの1日を思いっきり楽しみました。

(問)県児童課 078-362-3198

## 親の子育てカアツを応援します!

～「わくわく親ひろば実践事例集」をHPで発信～

県では、親子・三世代が子育てを楽しみながら、親として自信をつけていくなど、共に学ぶ学習会を「わくわく親ひろば」と名付けて、各団体・グループの開催を支援しています。

このたび、平成21年度の親ひろばの実践事例を豊富な写真と参加者の感想を交えて楽しく紹介した実践事例集を作成しました。新たに開設した「わくわく親ひろば」ホームページで提供していますので、ダウンロードして、ぜひご活用下さい。



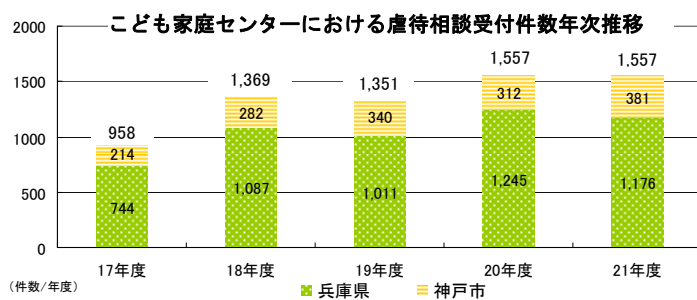
HP: <http://sites.google.com/a/pref.hyogo.lg.jp/oyahiroba/>

(問)県男女家庭室 078-362-3169

## 21年度 県内児童虐待相談が2年連続1,500件超

県と神戸市が平成21年度に受け付けた児童虐待相談件数は1,577件で、過去最多だった前年度と同数だったことが分かりました。

県では、今後も引き続き新たな人材の配置による児童相談体制の強化、児童委員との連携による虐待防止強化等により、児童虐待防止対策に向けた取り組みを進めていきます。



また、各県こども家庭センター及び神戸市では、児童虐待の連絡や相談を24時間電話で受け付けています。

中央こども家庭センター	078-921-9119
西宮こども家庭センター	0798-74-9119
川西こども家庭センター	072-759-7799
姫路こども家庭センター	079-294-9119
豊岡こども家庭センター	0796-22-9119
神戸市こども家庭センター	078-382-2525
(神戸市児童虐待夜間休日相談)	078-382-1900

(問)県児童課 078-362-3182

## 参加者募集

### 男女共同参画週間記念事業「ひょうごフォーラム」

#### 6/24 結婚に何を求める？

(木)

#### ～少子化時代の婚活事情～

「晩婚化」や「未婚化」が急速に進むなか、結婚に対する考え方は多様化し、結婚を取り巻く状況もいろいろと変化しています。



“結婚”に何を求めるのか。「婚活」ということばを世に送り出した家族社会学者の山田昌弘氏(中央大学教授)とともに考えるフォーラムを開催します。

◇日時：平成22年6月24日(木) 13:30～15:30

◇場所：兵庫県公館(神戸市中央区)

◇定員：300人(先着順)(参加費無料)

◇申込・問合せ：県立男女共同参画センター

電話 078-360-8550

#### 6/20 児童育成環境づくりフォーラム

(日)

県民生委員児童委員連合会では、地域における子育て支援活動の進め方や期待される役割など、地域のネットワークによる子育て支援活動の取り組みについて考えるフォーラムを開催します。

当日は、坂田助産院 坂田富貴子氏の講演のほか、地域の子育て支援実践者による事例発表を予定しています。

◇日時：平成22年6月20日(日) 12:30～15:30

◇場所：朝来市和田山ジュピターホール(朝来市)

◇定員：800人(先着順)(参加費無料)

◇申込・問合せ：朝来市民生委員児童委員連合会事務局

電話 079-672-6123

### まちの寺子屋師範塾 (6・7月申し込み分)

県内各地で子育て支援を行うボランティアの裾野を広げるため、大学でさまざまな子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」を開催します。

#### 近大姫路大学

地域の世代交流が育むこどもの未来

大塩の七夕飾りとゆかたの楽しみ方、絵本の読み聞かせ、こどもの虐待予防と家族支援 など

◆開催日：7/19、7/26、8/2、8/23、8/30  
(いずれも月曜日)

◆募集期間：6/1(火)～6/30(水)

◆問合せ・申込：079-247-7301

◆募集人員：20組(親子・祖父母と孫など)

#### 園田学園女子大学

そのだ流子育て講座

今どきの子ども事情 -現代の子どもの状況を考える-、学齢期の子どもとどう向き合うか など

◆開催日：9/29、10/6、10/13、10/20、10/27、11/10  
(いずれも水曜日)

◆募集期間：6/1(火)～

◆問合せ・申込：06-6429-9908

◆募集人員：30名(先着順)

#### 兵庫県立大学

(経済学部[神戸学園都市キャンパス])

国際感覚を育てる

～海外の子育て事情～

心の仕組みと人格形成、各国(イタリア、イギリス、デンマーク、タイ)の子育て事情 など

◆開催日：10/2、10/9、10/16、10/23、10/30  
(いずれも土曜日)

◆募集期間：7/1(木)～

◆問合せ・申込：078-794-5184

◆募集人員：30名(先着順)

#### 神戸女子大学

食と子育てを学ぶ

遊びで社会が変わるー遊びあふれるまちー、パンのふくらみとファーゼンのふくらみの違い、こどもの健康を守るパンの練習 など

◆開催日：9/25、10/2、10/9、10/16、10/23  
(いずれも土曜日)

◆募集期間：7/12(月)～

◆問合せ・申込：078-737-2432

◆募集人員：30名(女性のみ)

## ひょうご仕事と生活センター事業

### 中小企業の育児休業等の代替要員の確保を支援します

育児休業・介護休業の取得を促進するとともに、休業者が職場復帰しやすい環境を整備するため、育児休業・介護休業取得者の代替要員を新たに確保し、かつ休業取得者が原職等に復帰した場合に、助成金を支給します。

◇対象：常時雇用する従業員数が300人以下の企業の20人以下の県内事業所

◇支給額：代替要員の賃金の1/2(上限100万円、1事業所年間2人まで)

### 育児等の離職者を再雇用する事業主を支援します

育児、介護等を理由に離職した労働者の再雇用を支援するため、離職した方を元の職場に離職時と同等の地位で再雇用した事業主に助成金を支給します。

◇対象：常時雇用する従業員数が300人以下の事業主

◇支給額：再雇用者1人あたり50万円(1社年間2人まで)(短時間正社員として再雇用した場合25万円)

### 仕事と生活のバランスに関する取り組みを応援します

「仕事と生活のバランス」を推進していくための相談を受け付け、課題に応じた適切な専門家を派遣します。また、それぞれの職場に応じた研修プログラムを提供します。

#### <ワンストップ相談>

「仕事と生活のバランス」に関する様々な相談に常駐スタッフがお答えします。来所・電話・E-mail等でご相談ください。

#### <相談員等派遣>

専門家スタッフを無料で派遣します。

専門家：社会保険労務士、中小企業診断士 等

#### <研修企画・実施>

企業職場における研修を企画・実施します。

〇問い合わせ先 ひょうご仕事と生活センター

兵庫県中央労働センター2F

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3番28号

TEL：078-381-5277 FAX：078-381-5288

〇改修工事のため一時移転します(平成22年6月～平成23年3月予定)

〒650-0044 神戸市中央区中山手通7丁目28番33号 兵庫県立産業会館2F (TEL番号、FAX番号は変わりません)

## 各種助成金のご案内 ～ぜひご利用ください～

### 事業所内保育施設の設置費の一部を助成します

事業所の敷地内や近接地（事業所内設置型）に保育施設（定員3～9人）を設置する事業主に対し、その設置経費の一部を助成します。また本年度から新たに、従業員の通勤経路上の駅前等（駅前等設置型）に保育施設を設置する場合に、その建物の賃料を助成します。

- 事業所内設置型：設置費(上限750万円)を助成
  - 駅前設置型：設置費+家賃分(一括払い、工事契約締結日から5年分、上限250万円)を助成
- (問)県少子対策課 078-362-4186

### 携帯電話インターネット(親子)学習会の開催を支援します

インターネット上の有害情報等から青少年を守るため、学校や各種団体が実施する、青少年や保護者を対象とした携帯電話・インターネットの安全な利用についての学習会(参加者10名以上)の開催費用の一部を助成します。(助成期間は平成23年2月28日まで)

- 対象：学校、PTA、青少年団体、自治会、子育てグループ等
  - 助成額：上限2万円(講師謝金、講師旅費、会場使用料等)
- (問)(公財)県青少年本部 078-891-7410

## 地域団体・NPO・企業等の活動紹介

NPO 法人北播磨市民活動支援センター（理事長：柳田吉亮） <http://www.ksks-arche.jp/>

北播磨地域の多種多様な市民活動の自立活性化をサポートする同センターでは、小野市うるおい交流館エクラの託児室を活用した子育て支援事業に取り組んでいます。

その取り組みの一環として、4月18日(日)に開催したアルシェフェスタ in エクラ「あそびのワークショップ」では、親子や祖父母、地域住民など多くの方が参加し、バルーンアートや折り紙、牛乳パック工作などのあそびを通じて多くの方がふれあいました。

また同センターは東・北播磨、但馬、丹波地域におけるNPOと行政の子育て支援会議の運営事業を受託しています。



### 関西学院子どもセンター開設

子どもの育ちと子育てへの社会貢献、乳幼児保育・教育に関する教育活動に寄与することを目的に、西宮聖和キャンパス山川記念館内に関西学院子どもセンター（センター長：山本伸也）が開設され、5月8日にオープニングイベントが開かれました。

同センターでは、子育て中の親子や子育て支援者が気軽に交流できる場の提供や発達障害児への支援などを行っているほか、これらの活動を通じて教育・保育にたずさわる人材の育成にも取り組んでいます。



おやこのひろば



えほんのへや

(問)関西学院大学広報室 0798-54-6017

### ◇ 頑張る企業 ◇

株式会社 エクセレントケアシステム(西宮市)

<http://www.excare.co.jp/>

(代表者：大川一則 事業内容：介護事業)

同社では、西宮市に平成22年3月に開設した有料老人ホーム「エクセレント西宮」に、県の補助を受け、施設内保育所「エクセレント西宮キッズ」をオープンしました。

同ホームでは、入居する高齢者と幼児の交流を取り入れた保育がとても好評で、ロビーや談話室は子どもたちと入所者の歓声と笑顔がいつもあふれています。

保育所の設置が就職先決定の決め手になった社員もあり、新たな人材の確保や仕事と子育ての両立に大きな役割を果たしています。



(県と子育て応援協定を締結した企業・団体は673社・25団体です。協定を締結すると、商工中金の貸出金利最大0.3%優遇や県の公共事業入札参加資格評価の点数加算などの支援を受けることができます。)

### ※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部こども局少子対策課)：E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp